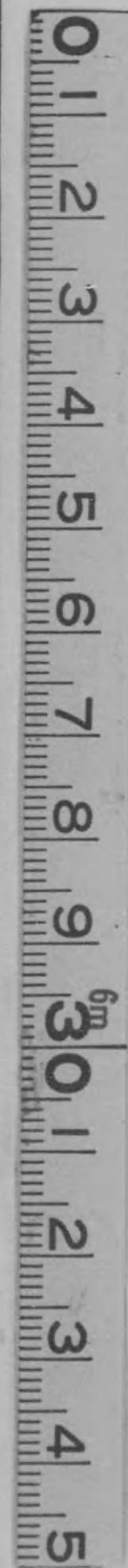


393

233

世界画報

国立国会図書館



始



信通トツレフンメ界世

(36)

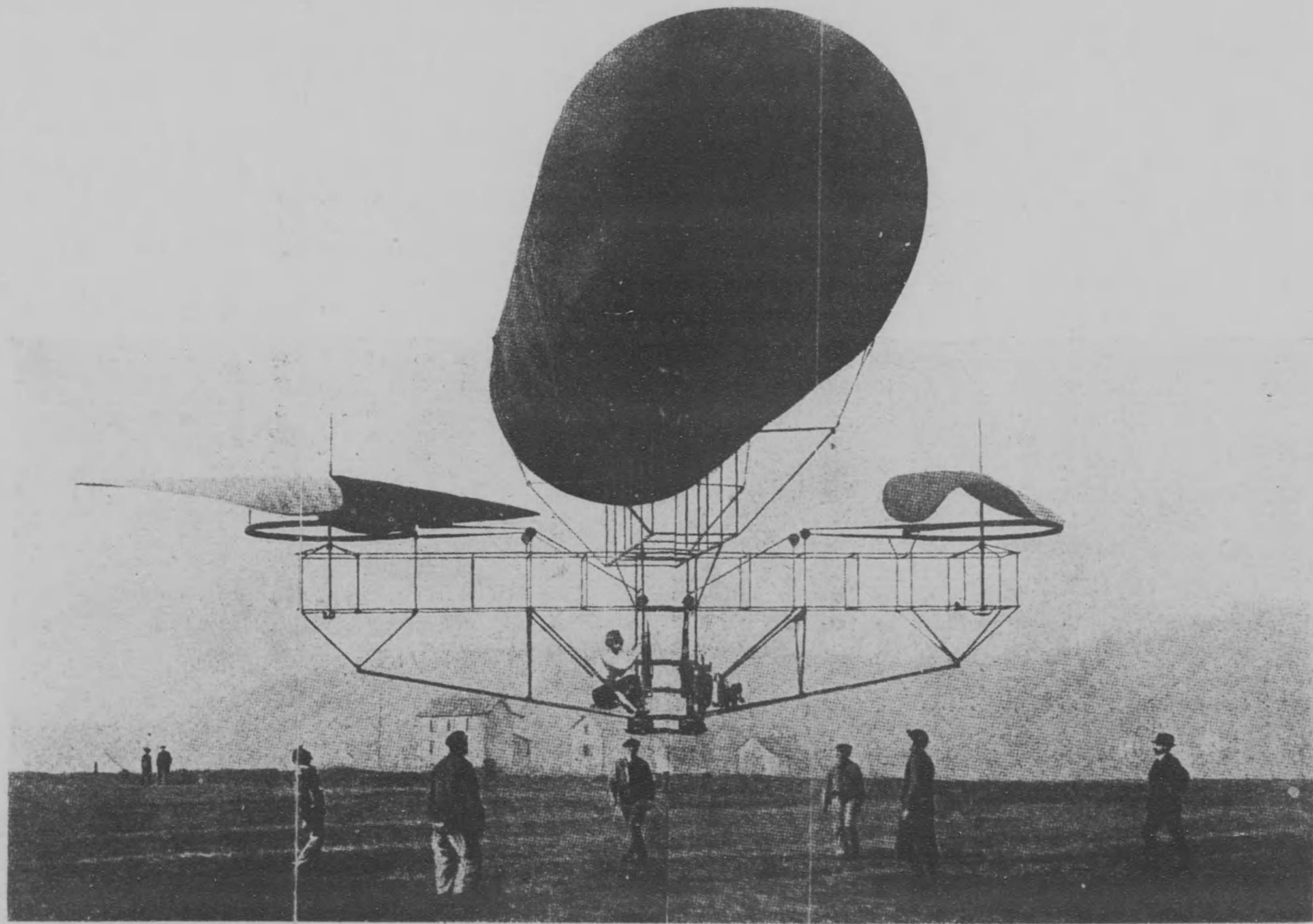
報 書 界 世

1921

輯監及筆執

陸軍大學教授	稻葉君山
慶應大學教授	馬場孤蝶
參謀本部編修官	長瀬鳳輔
正教諭學校教授	昇曙
早稻田大學教授	煙山專太郎

編輯主任
大畑達雄



— 面 裏 明 說 —

佛國の最新航空機

圖はモナコに於ける『佛國製エリコプター』の試運轉の光景を示す。此の奇怪なる外觀を有する飛行機は、佛國人の機械技師エチエンヌ・エミセン氏の考案になれるので、飛行船と飛行機の合體したものである。即ち、飛行船と飛行船の特長を利用して建造されたものである。圖に見える通りに、飛行船の下胸部に飛行機を連結し、飛行機の兩端翼面には各々一個宛のプロペラを備へ付けてゐる。其の操縦の方法は普通の飛行機と變りなく、第一此の飛行機は墜落の虞がないのである。即ち、發動機の運轉が止り、又はプロペラに故障が出来ても、そのままの位置に於て空中に浮んでゐることが出来、その間に揮發油の補充も出来れば、又プロペラの修繕も出来るのである。上部の飛行機には凡そ三百十四キロ立方の瓦斯を注入するを要する。而し速力は普通の飛行機よりも稍々遅いのを免れないのである。(佛・イラストレーション誌所載)

航空写真

193-233



出来ても、そのままの位置に於て空中に浮んでゐることが出来、その間に揮發油の補充も出来れば、又プロペラの修繕も出来るのである。上部の飛行機には凡そ三百十四キロ立方の瓦斯を注入するを要する。而し速力は普通の飛行機よりも稍々遅いのを免れないのである。(佛イラストレーション誌所載)

大正
10 0 7
内交

— 面裏明説 —

——天文學上の大革命——

月は枯死せず

枯死したと信ぜられて居た月は、實はまだ枯死せぬ。今猶盛んに活動して居る。

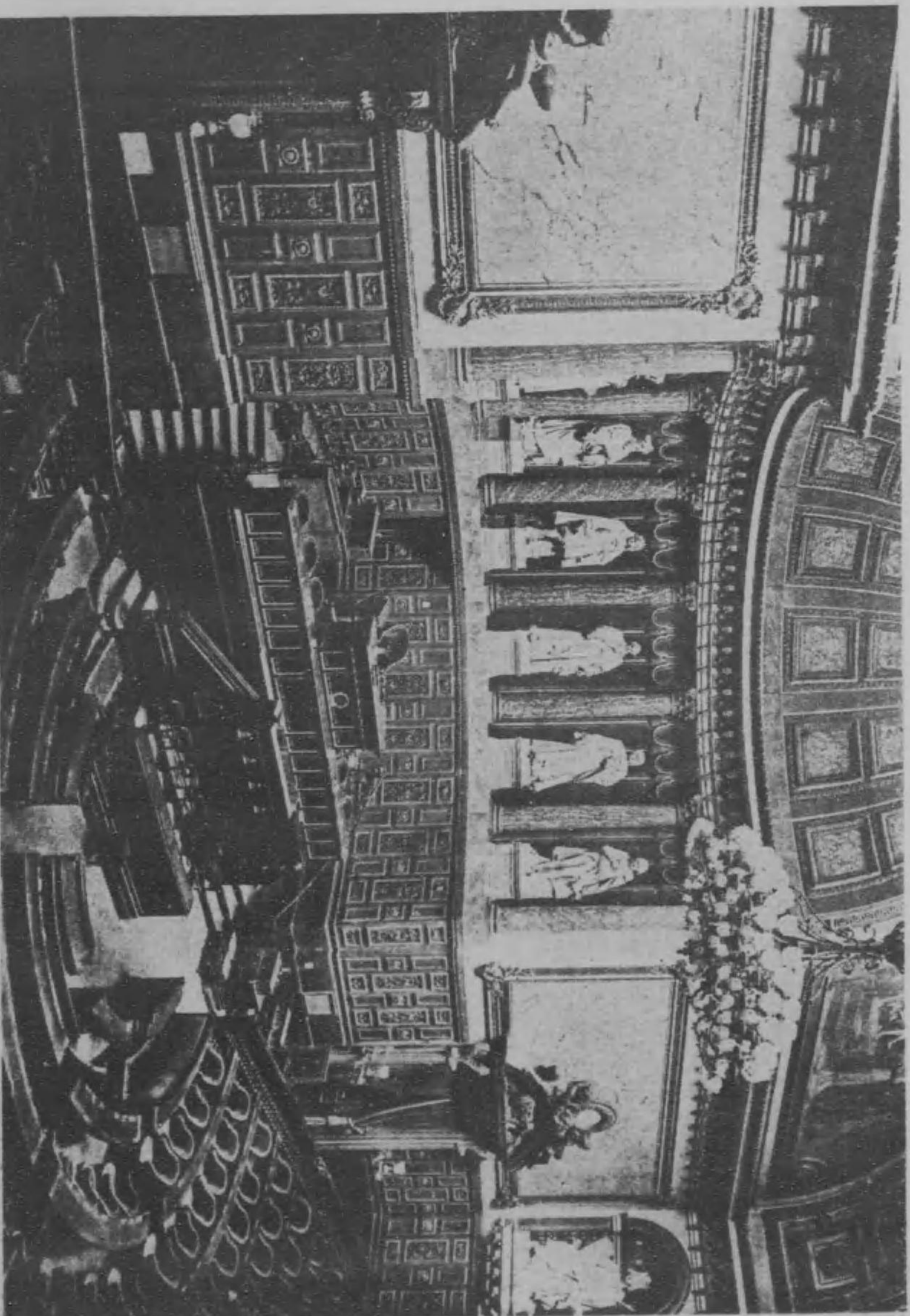
最近望遠鏡の力の發達と、一定の月面に對する倦むなき研究と相俟つて、月に對する見解に一大革命を來した。月の地帯は直徑約六千哩で、そこに一哩乃至一百碼の小噴火口及び圓錐體が無數に散點して居る。そして今日迄の觀測の結果から判斷すれば、此の噴火口や圓錐體は、時々刻々變化し、絶えず大きさと、現視(ビザビリチ)に不思議な、且つ不規則な變化を呈して居る。猶又此等小噴火口は、常に半數しか見えなくて、見えない小噴火口の上には白雲が密集して居る。で、此の白雲が消散するに隨ひ、隠れたる小噴火口が、漸次正常に見るといふ。兎も角も枯死したといはれた月が、今猶旺んなる噴火現象を呈し、其の活動の絶頂時には、かのベスヴィオスの噴火と比敵する程の壯觀を示すことが發見されたのは、天文學上の一大革命であらねばならぬ。圖は月面に見ゆる噴火現象——大プラトー平原の西端に於ける一噴火口。

佛大總統ソラルミ氏御訪問



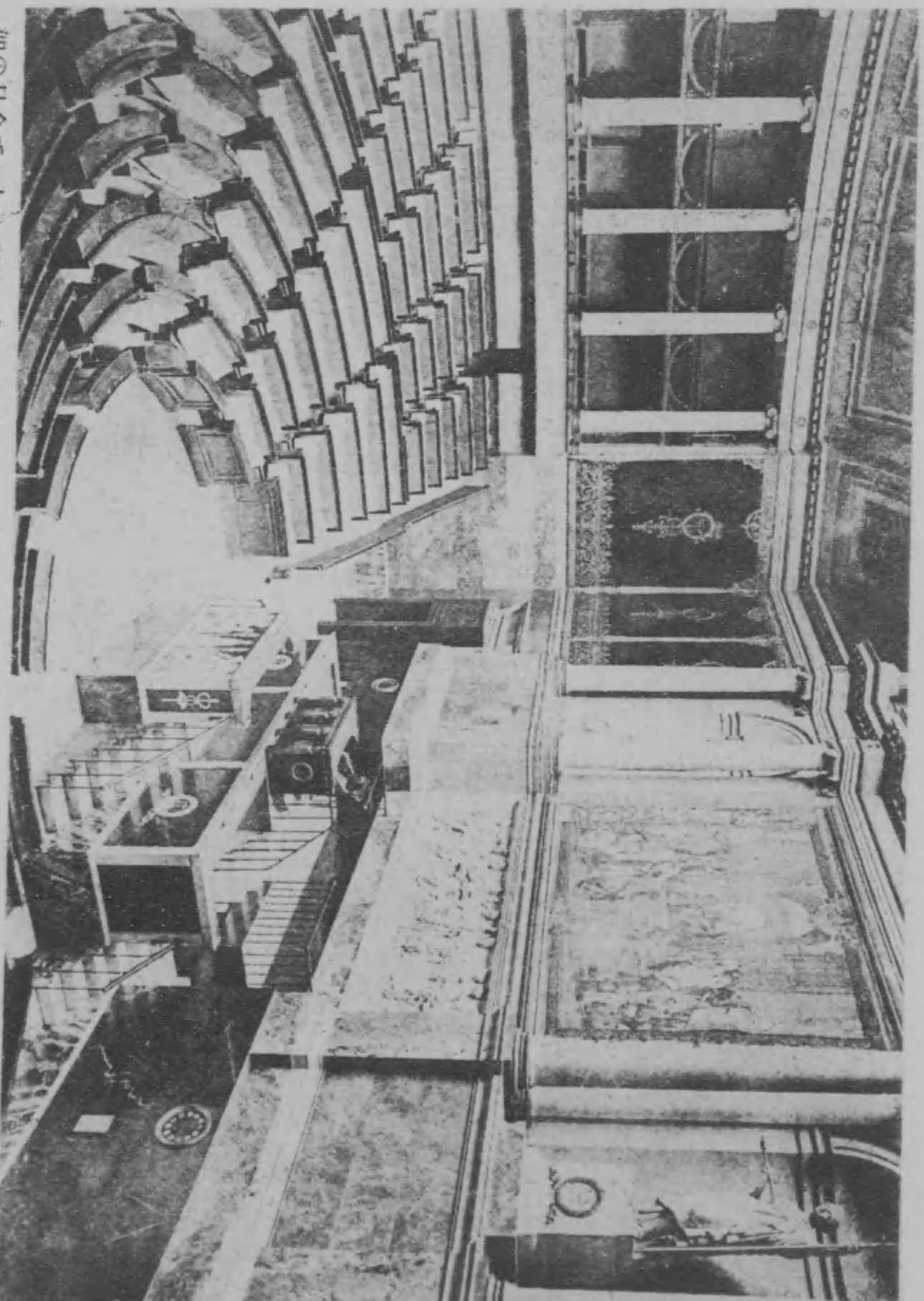
東京皇宮東下殿に於て五月十三日佛大總統ソラルミ氏御訪問に際し、佛大總統ソラルミ氏が佛大總統夫人と御同席に於て、佛大總統夫人が佛大總統夫人に御挨拶をなさるる所を寫したるものなり。

堂事議院上の國佛



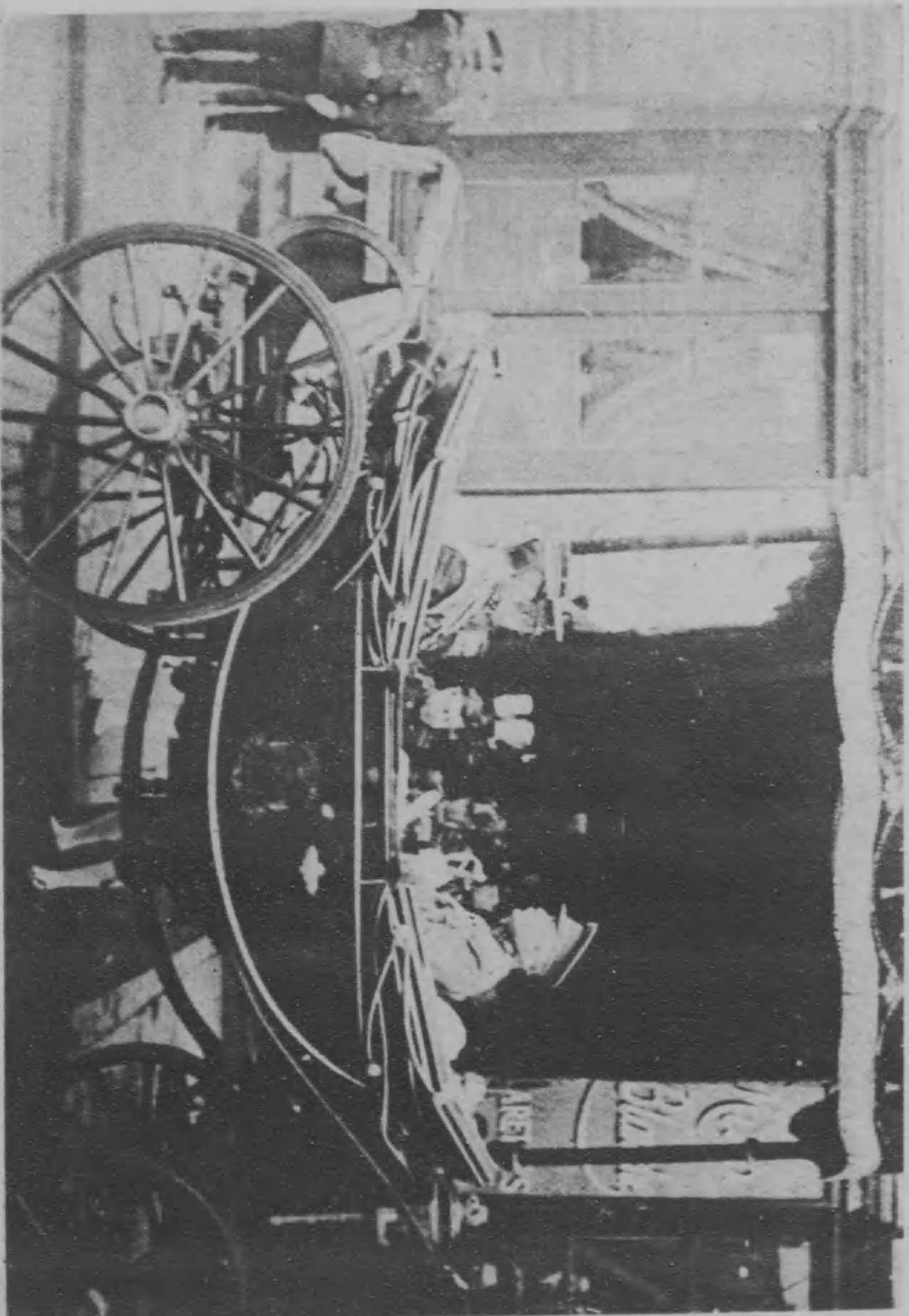
、でのもたて先に之でし理修を物築延な原莊たお用てしと場會夜次が世四十易路で會は堂事議院上國佛
議院下日一十二月六は一殿。るゐてれら飾り像塑の家治政人るお功勳のてつ取に國佛はに方後の席長議
。たねさは遊々聽録を明説の長を伴田珍にらせら成もへまこく司て以な序御の學見御堂事

堂事議院下の國佛



如の日今てへ加を理修に新後命革でのもたれらお用てしと殿宮に時盛全の朝王ソホルナは堂事議院下の國佛
殿。るゐてれら知てしとのもたし徴象をし譽自7の民國佛は畫油たれか描に井天に並壁四の場議でのもたしく
。たれらせらお學見御を様有の議詞其に心熱御。耳聽録を明説の 伯田珍でれらせら成に處此日一十二月六は下

着御場車停のルセツラゾ



に並下陸帝皇義耳白、着到御に場車停北のルセツラゾ都首の義耳白く以を時五後午の日十月六は下殿宮東中園、たれらせば向に殿宮、乗同御に車馬庭宮と帝皇はち直、上たれらせさけ受を迎出御の下殿子太景同。軍將クツイゾーバカハ、若は者提軍の面前、子太皇國白は左の世、下里、英雄御の手左の中車馬面軍

成ヲ館物博のルセツラゾ



右の市同に園、かたれらせば遊覽御を員名諸のルセツラゾ都白で列同御と下殿宮院開まに下殿日一十月六は遊覽御を他其物作製の人上及形人俗風の人上るけ於に加利弗阿、上のり成おに館物博ーエソコるな名。るあで景光の時よるらせらあ出退御し今、れさ

覽御跡戰の一ロルテーフ義耳白



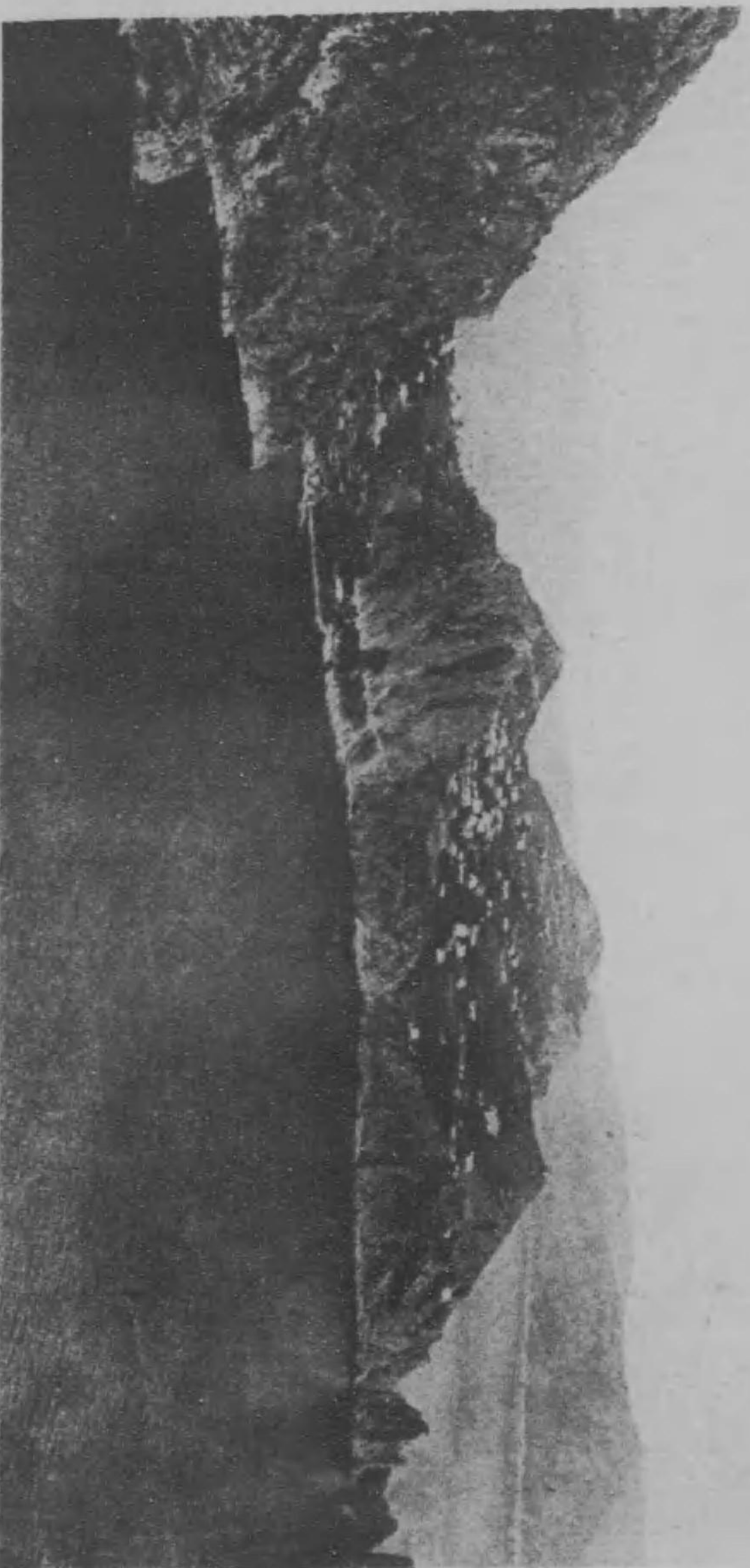
れらせら入に一ロルテーフ場戦古の軍兩佛普、日二十月六が下殿は國
イダービ、れらせた立に塔高の上丘子獅る見に下眼を野の戦耐年當て
舉を手に右の中圖、で景光の時居てれき召聞を話講況戦の軍將クツ
震を聲し今はの居てげ上申し話おに下殿をか事何で情表な烈熱てげ
軍將クツイダービるあ、つし明説を因原の戦敗ンオレボナてしは

院寺大のスラるたれさ壊破



の國佛、物築建るあ緒由たれさ造建に紀世二十ぐ古は院寺大のスラ
れらせ壊破爲の撃攻の軍獨時當戦大がたつあでのもたれば云もと寶國
らせら成に院寺此日二月六は下殿。るゐてし呈を状慘き如の墟廢は今
たつ成にれた打おに概感御の量無、覽巡御を内寺此で内案の正僧大れ

景泰の鳥リヅカ



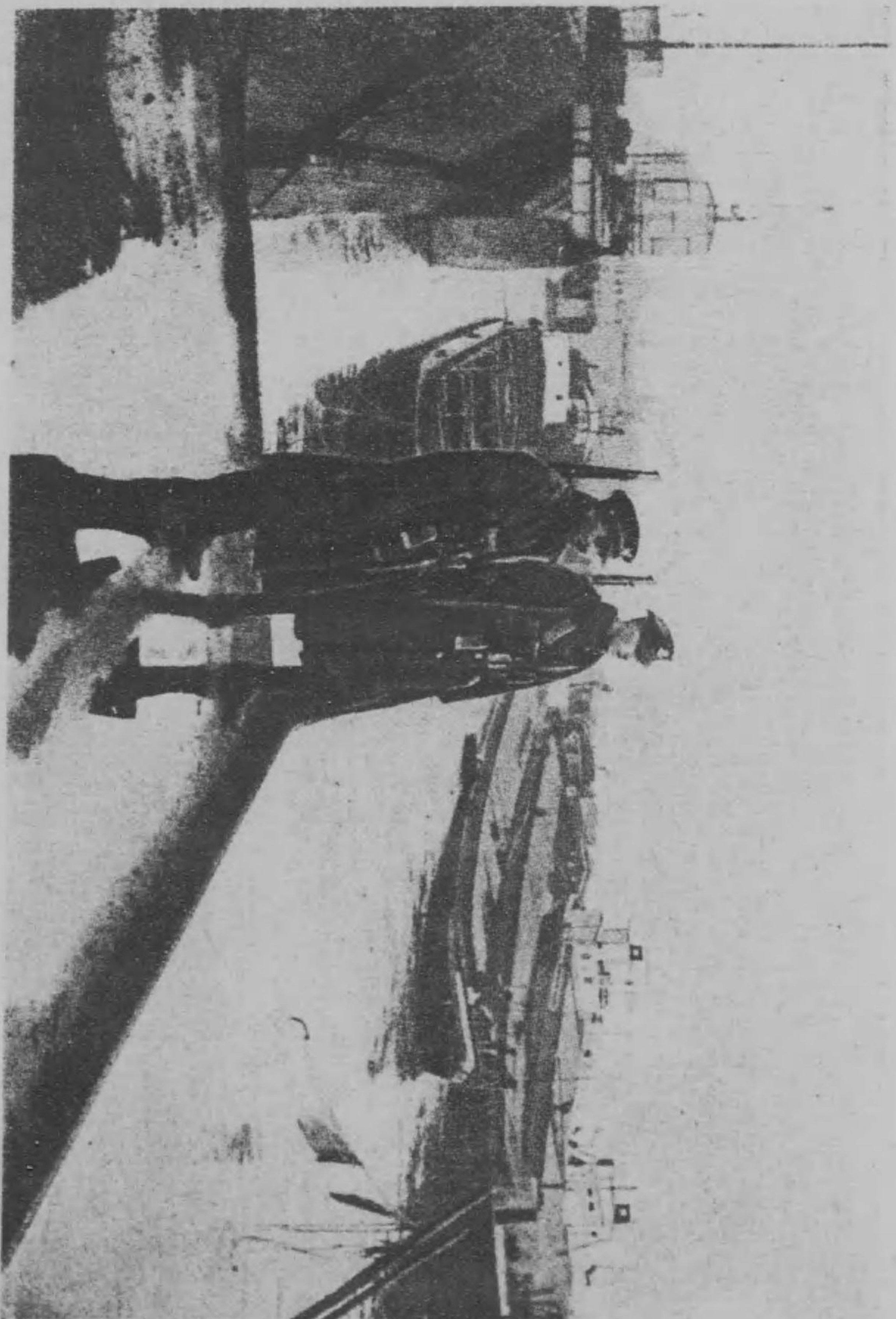
ら入にリボナで島な名有るあに頭津のりボナ地所名の利太伊るれば云と「い可もでん死らた見かりボナ」
 姿き如のドルヲメエが鳥此に景背を色景いし美の山火ヨイザヌエザク吐く煙にかや煙、皆は船るすとん
 おで光風の上以想像」頭劈着到仰りボナが下殿宮東。るあでのむ望をのる岸へ落に上海中地の碧紺を
 。るあでの眺の鳥此ち即ば「たれらせらあ美賞仰としる

議 會 國 帝 英 大



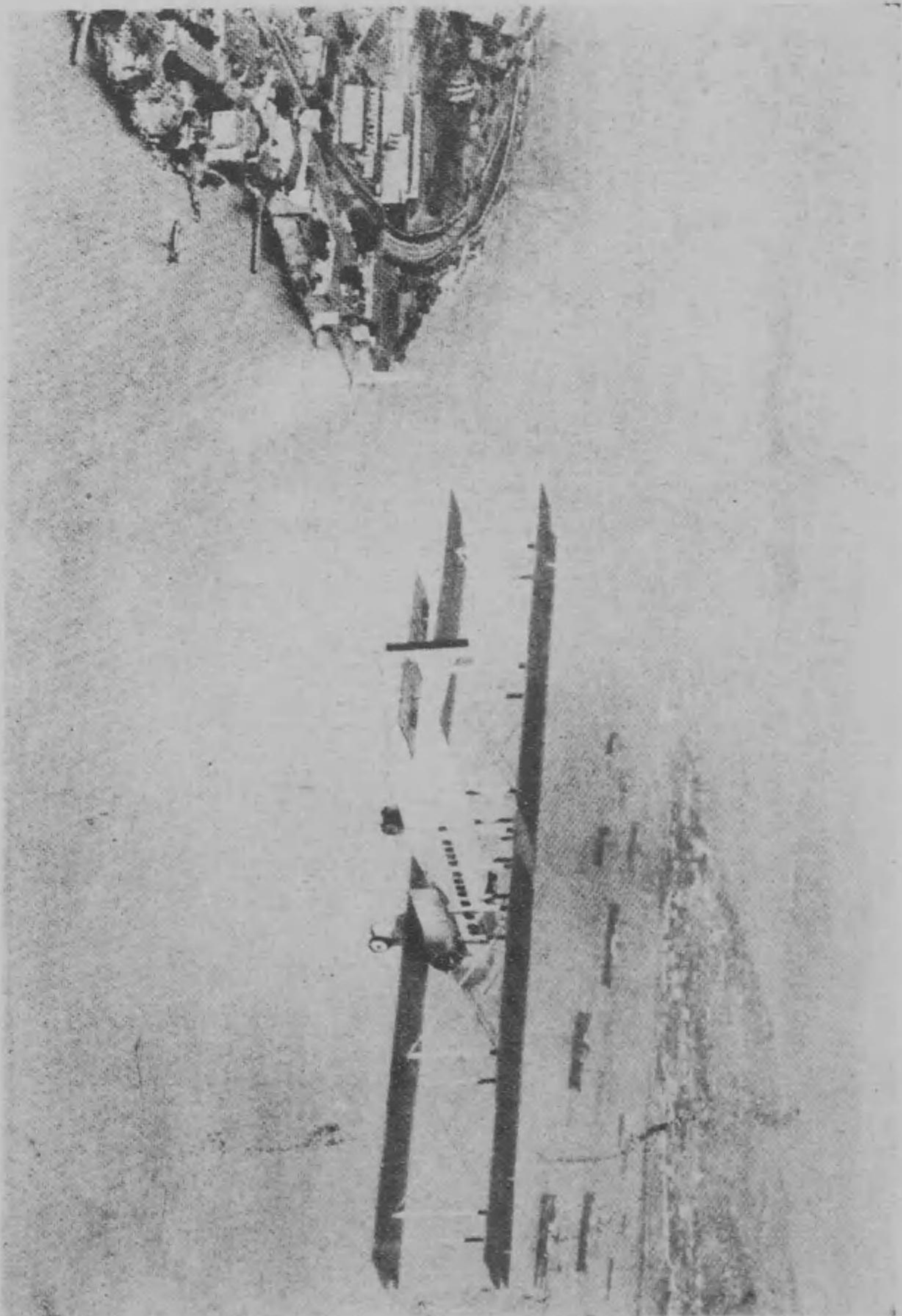
議會議帝英大たつなと機皇の催開議會洋平太に遂、與を化變大的代時劃に策政外的統傳の國英
 ゲイメは次。(蘭西新)氏イセツヲ月人四。氏アオアルバ目人二りよ左でつ同列前。々人るせ集宴に
 (阿南)軍將ツツマズは次。(洲濠)氏ゾーユセは次。氏ツーヨツ・ドイロは次。陸奈加)氏ン

が兵英に顔物が我



が我は兵英、りなと處るす理管の國合聯は今も港アルドルセエテの逸獨な華繁もしさるた英明のツイラ
對に國合聯でれらげ舉に共とれ其の港路の他は税關とるさ納收でまこ。るる。し視器を軍船のそに顔物
るれら見もにまこは慘悲の敗戦。るれられ入線に内金償賂るす

翔快の上峽海ヌラボヌボ



し號レヨシツミ「機行飛型大軍陸國仰るす飛雄を空上の間ーリスキヌユイラせるす扼を喉咽の峽海ヌラボヌボ

駐英米大使ハーツー氏



太平洋議院英首相ジョージ・ドイロ氏が此のハーツー氏に
打耳打ちしたところによつてハーツー氏の提議を見至つたと
傳へらるるハーツー氏の親任最厚い人である。

愛蘭叛徒の英士官虐殺



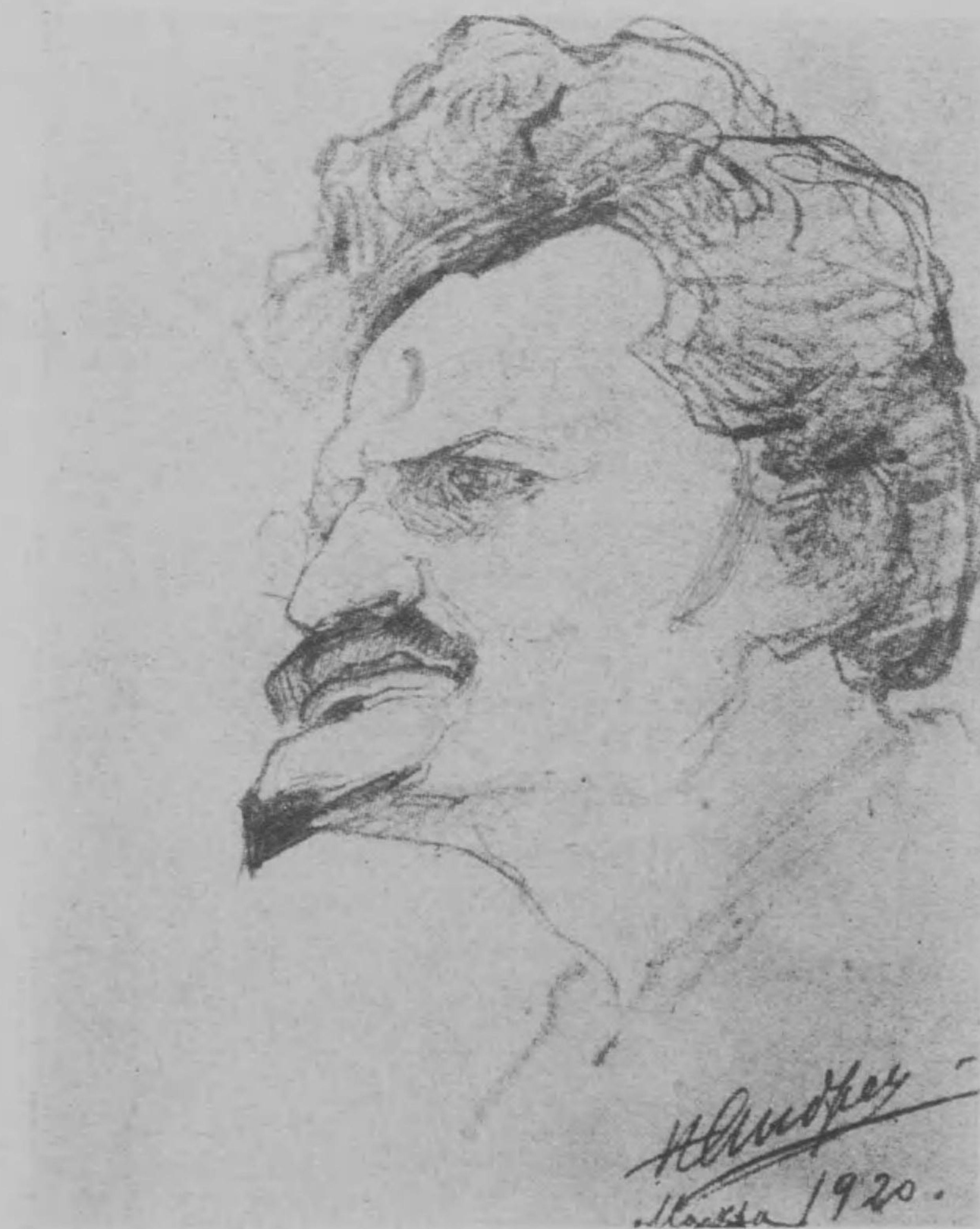
賊は毛づ英士官の體數ヶ所に創を負せ、且一帯を施たし
上り、その前同婦人凌辱し、然る後に銃殺するふいと
殺居るやぶ弄鼠が猫一、るま極中。

子 の 家 命 革



(右)子のフネメーカと(左)子のイキツロト領首の派激過國露

描 素 の イ キ ツ ロ ト



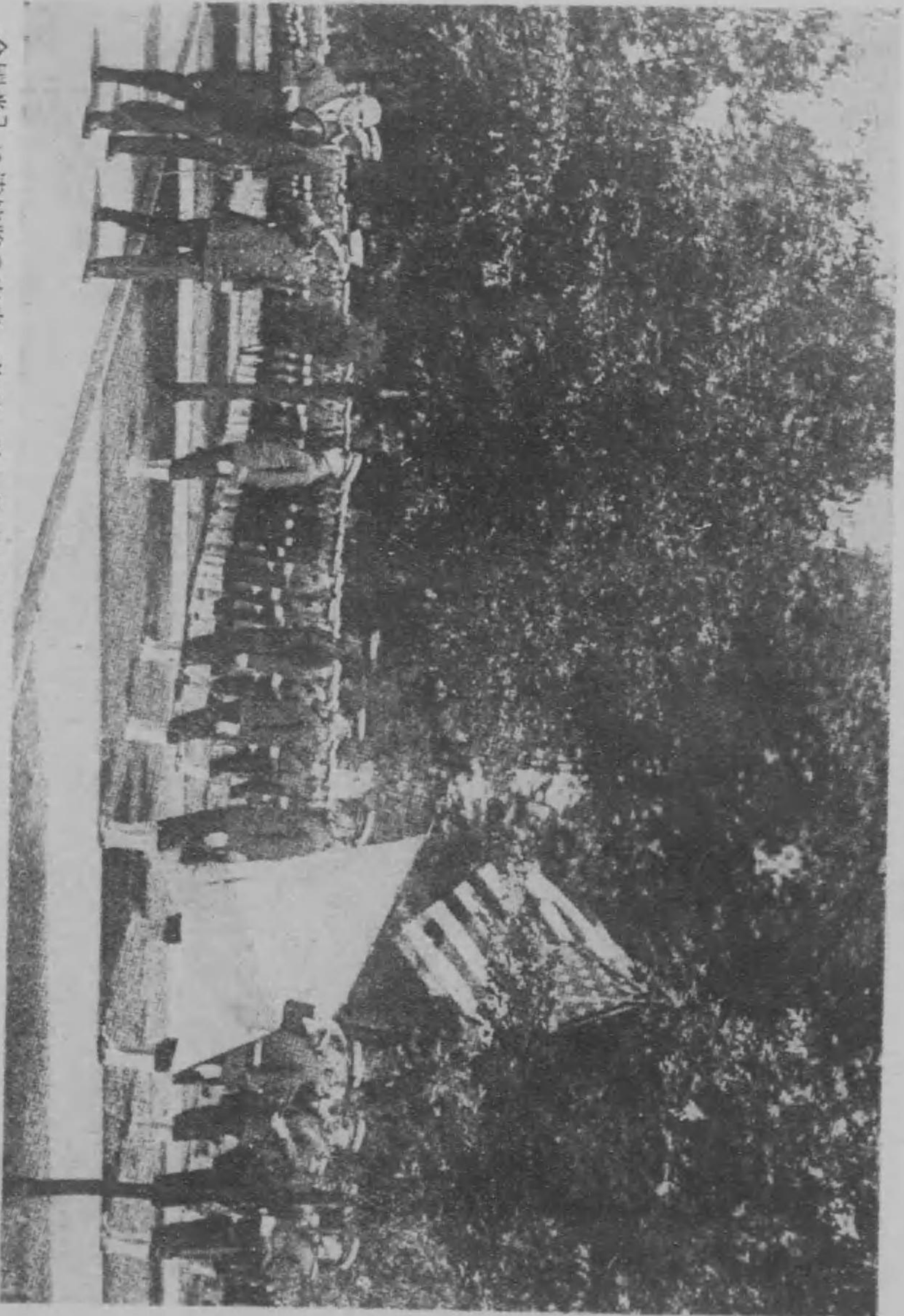
載所「像肖の人國露」著史女ンダリアシ・アールフ國英

前米大國統領の新官職



てい於に在現、は氏トフタたつ握を政國てしと領統大國米てつ誓
 のらか心本の彼、がるあで物人きべるか置に置位同と卿閣内も
 は彼後死の氏トイホ近最。るあでとこるす與參に權法司、望希
 。ため占を子椅の長院審大にり通望希のこ

海軍擴張の制限



今國米」に達校將の來未い若てふ訪を校學兵軍海スリホナアくなも問任就は氏グソイテ、ハ領統大國米
 者議發の定協限制備軍、又が氏グソイテ、ハのそ。たし説演としりあに肩双の兄諸てつ、かは命運の後
 だのるあもて

場置のルトスピな全安も最



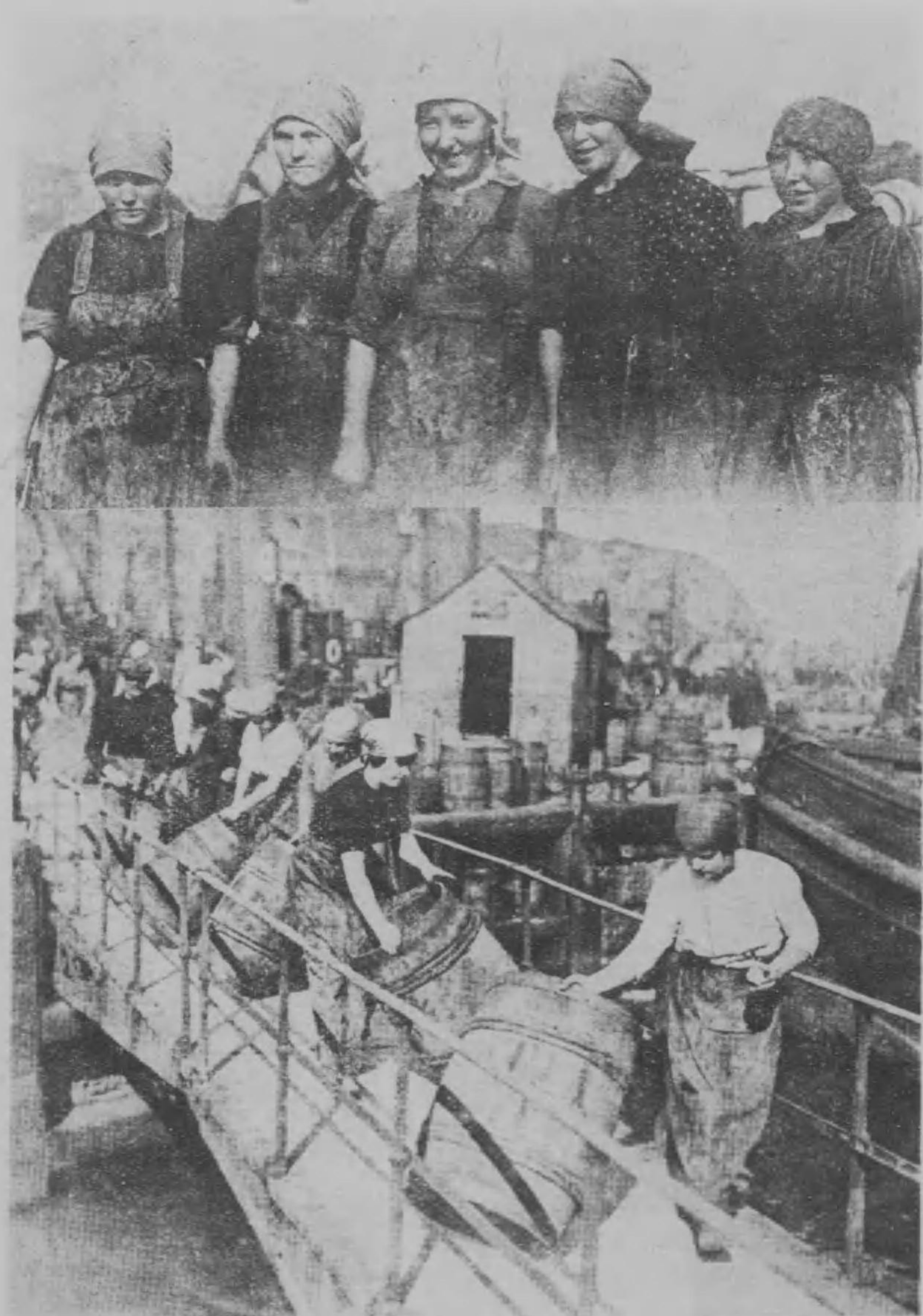
張主もを除解装武的人個は上以るす張主を除解装武的民國が會教
 きべす止阻を買賣や用使のルトスピてしそ、いならなげれけなし
 師教宣一の國米をとこなんこ……いならなげれけなき起を軍字十
 るゐてしか脅を活生の人國米に何如がルトスピ。るゐてし張主は
 て棄に中海をルトスピたげ上取らか達人犯は圖。るれさ像想々か
 ることる

嫁花の其と氏スーバンゴ



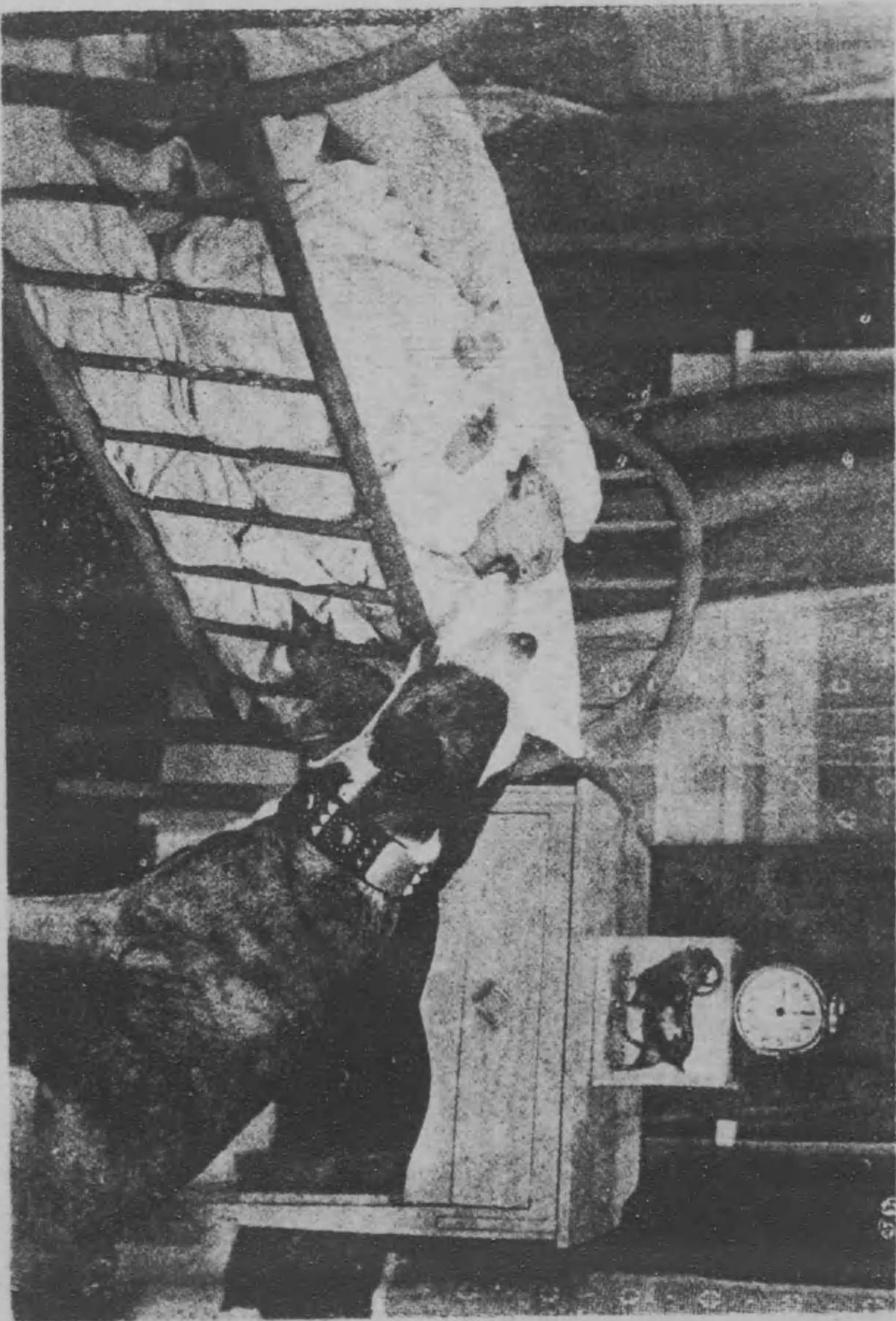
い深の染馴に界者働勞の本日
 たつ貰を嫁花が氏スーバンゴ
 花い若なんこ、がたい聞は話
 歳一十七年本は氏。るあで嫁
 即前年七十二は圖下。るあで
 るあで照小の氏の時の歳四十四ち

鯨獲りの娘達



（圖上）蘇格蘭の鯨獲り娘達のメクスレー（圖下）は彼女達が荷を揚がる場所へ船を轉がす

活寫眞界最高月の給取



米國活寫眞界最高月の給取此は此のラウニ君であらう。此は彼が獲得の活寫眞の第一、オ六年の彼が獲得したての活寫眞である。此は彼が獲得したての活寫眞である。此は彼が獲得したての活寫眞である。



— 面 裏 明 説 —

太平洋のアンイラダグ



か後てえこな河運馬奈巴。ぞるあだま ぞるあもでらくい「ーキンヤ
 角折」ブツヤジしかたつ入れ恐だうど、ぞる來もでらくいらか後ら
 マツヤ)す落取を文證の事大すは思としか文證古反、がたつとはりと
 載所號月七誌トスゲア・ーリラアリ國米 ——(治統任委盟聯際國島

目 次

22	21	20	外號	19	18	外號	17
モスコウの現状	日本及東洋の將來	支那の治外法權	一 幕 物(シヨウ)	石炭と海運	世界 畫 報	人民投票の理論と實際	性 の 教 育

ロシア智識階級の恩人

ゴオルキイは今日の勞農ロシアに於いて疑問の人とされてゐた。それに従
 がホルシエキキに對して即かす離れずの態度を取つたからであるが、然し
 實際に於て、彼は飽くまで中立の態度でロシア智識階級全體の悲惨な生活
 に同情しその救済策に日夜腐心してゐるのである。故に彼は「智識階級の
 恩人」とさへ云はれてゐる。日本では彼の全集が日本評論社から出版され
 てゐる。

敬愛する諸君に

—— 今後の新計畫に就いて御報告 ——

「試みの半年」が過ぎました。そこで半週年間の経過と、此の試みに依つて具體化された今後の計畫、方針を、此の際御報告致したいと存じます。

實を申すと、最初計畫の際は、かうした新しい試みが、果して受け容れられるか何うか、多少不安の念がないでもなかつたのです。ところが、やつて見ると、豫想意外！ 眞に豫想外の白熱的大歓迎を受けまして、會員は幾何級数的に増加又増加しつゝあります。

斯くて會の基礎も確立し、前途の見込も充分立つやうになりましたから、茲に愈々第二期の活動に着手することになりました。で、先づ改善の手始めに、有力記者數名を増聘し、從來多少不統一の憾あつた内部組織を「編輯部」「翻譯部」「調査部」の三部組織とし、從來の編輯主任大畑達雄氏を専任翻譯部主任に、又、新に入社した上野一也氏を編輯部及調査部主任とし、別に各専門有能者をそれぞれ配置して、組織的に其の歩武を進めることになりました。

一、今後の編輯方針

六ヶ月間に配本致した四十餘冊のパンフレットは、恐らく、非常にお氣に召したのもあると共に、又、必ずしもさうでなかつたものもありませう。又、其の選擇標準が、多少雜駁の嫌ひもあつたでせう。が、是れは創業匆々の不手廻りからといふよりも、寧ろ斯うした種々なるものを「試験的」に配本して、讀者諸君大多數の御意嚮、御要求を觀測したい爲に外ならなかつたのです。で、今日は、略その見當も立ちましたから、今後の編輯方針は、先づ

A、世界的中心時事問題（目下の場合で申さうならば、太平洋會議を主題とする各種の問題）を主とし、
B、之に配するに社會問題、思想問題、實業、經濟に關する新研究新消息、又、特に科學上の新知識を重要視し度いと存じます。

C、それから、世界各國の歴史的地理的事情（尤も是れは新しい變化に基づいた新研究に限ります）
D、書報は製版印刷上革命的大改良を試むべく、目下研究中であります。
E、又、今後は大に漫畫趣味を取入れれます。取敢ず九月中旬には「太平洋問題漫畫集」を出します。
F、名著の紹介、新人物評論、此れも亦時々取入れれます。

以上が編輯方針の大體ですが、要するに此のパンフレットの生命は、飽くまで一般的、普遍的なる點にあります。隨つて、餘りに局部的、専門的、非一般的のものは、今後は避けたいと思ひます。例せばラツセル氏の著述の如き、その社會問題に關するものは今後も採擇する場合がありますが、哲學に屬するものゝ如きはパンフレットからは除外します。本會が別に「ラツセル叢書」を刊行したのも此の趣意に外ならぬのであります。

二、太平洋問題と本通信

世界の國際政局に劃時代的大變化を與へんとする太平洋問題に關する活資料は、抜目なく蒐集紹介しつゝありますが、今回法學士小原正樹氏の渡米（約二ヶ年滯米の豫定）を幸ひ、同會議に關する詳細なる通信を囑託致しました。殊に同氏は渡米後或特種な任務に就かれる筈で、其の特種の立場から見聞した同會議表裏兩面の消息は、決して他の追隨を許さぬ特色あるものです。

三、世界パンフレット通信地方支部

地方支部は其の後逐次増加し、左記六ヶ所、新設を見るに至りました。

△山梨縣甲府支部、甲府市柳町須藤孝平△青森縣弘前支部、弘前市土手町今泉道次郎△兵庫縣西宮支部、西宮町太陽堂書店△兵庫縣神戸支部、神戸市元町寶文館支店△福岡縣福岡支部、福岡市博多中島町金文堂支店△朝鮮大邱支部、大邱府廳内佐々木靜雄

四、世界パンフレット賞金

第二會懸賞「誤脱指摘」は第一會にもまして多數の應募がありました。本號で其の結果を御報告致す筈であります。が、何分其の調査が困難なので、來九月十二號の誌上には必ず發表いたしません。

正にその通りである。この点から見て、この書は、我が國の教育界に於ける、
學に對するもの、物事はパンフレットからはず外し、大分特別に「ウツセ」を設けた、
も此の趣意以外に、心算の「ウツセ」も、

二、太平洋問題と交通信

此の、同族政府は、同族政府の、化、與へる太平洋問題に關する新資料は、
し、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、今、
細なる通信を、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、
見出し、同族政府は、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、

三、世界パンフレット通信地方支店

地方支店は、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、
△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、
△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、
△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、△山梨縣甲府支店、

四、世界パンフレット賞

第二回賞、第一回に、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、
す、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、或し、

大正十年八月廿五日印刷
大正十年九月五日發行

(非賣品)

東京市本郷區弓町一丁目二十五番地
野澤源之丞

東京市本郷區弓町一丁目廿五番地
發行所 世界思潮研究會
電話小石川一九七一番
横濱京京三八四二九番



終

